



北海道立農業大学校は  
北海道で農業を  
志す人のための  
学校です。





畜産経営学科



畑作園芸経営学科



稲作経営専攻コース



農業経営研究科

北海道立農業大学校は、十勝地方東北部の本別町に位置し、全道・全国から明日の北海道農業を担う学生が集まっています。学生たちは、240haの広大なキャンパスに整備した校舎や農場、牛舎、加工施設等を存分に活用して、自ら課題設定した実習に日々汗を流し、農業経営者としての力を蓄えていきます。

## 学科及び研修

| 課程・部門 | 学 科                | 専攻・コース         | 定 員                | 修業年限 | 受 験 資 格                                 |
|-------|--------------------|----------------|--------------------|------|---|
| 養成課程  | 畜産経営学科<br>畑作園芸経営学科 | 乳牛・肉牛<br>畑作・野菜 | 60<br>(各学科おおむね30名) | 2年   | 高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校卒業<br>(見込み含む) |
| 研修部門  | 稲作経営専攻コース          | 稲作経営           | 10                 | 2年   | (見込み含む)                                 |
| 研究課程  | 農業経営研究科            | 畜産専攻<br>畑園専攻   | 10                 | 2年   | 農大養成課程、短期大学等卒業<br>(見込み含む)               |

# 北海道立農業大学の概要

## 沿革

- 昭和21年 「北海道庁立農業講習所」として発足
- 昭和49年 「北海道立農業大学校」に改組
- 昭和54年 修業年限を1年制から2年制に改組
- 昭和60年 「養成課程」を2学科4専攻コースに拡充  
「研修部門」の新設と「稲作経営専攻コース」の新設
- 平成11年 研究課程「農業経営研究科」の新設  
農大改築落成・創立50周年記念式典
- 平成18年 学校教育法に基づく「専修学校」に位置付け
- 平成19年 農業系4年制大学への編入が可能に
- 平成20年 養成課程の卒業者に「専門士」の称号を付与

## 用地面積 (単位:ha)

|     |      |         |       |
|-----|------|---------|-------|
| 普通畑 | 21.9 | 林地      | 112.0 |
| 飼料畑 | 12.7 | 建物施設 其他 | 44.5  |
| 採草畑 | 35.1 | 計       | 240.0 |
| 放牧畑 | 13.8 |         |       |

## 農場の概要

主な栽培作物  
**畑作物** てんさい、ばれいしょ、秋まき小麦、春まき小麦、大豆、小豆、枝豆、休閒緑肥

主な栽培作物  
**野菜** たまねぎ、レタス、ブロッコリー、にんじん、はくさい、だいこん、ながいも、スイートコーン、かぼちゃ、ごぼう、メロン、トマト、ねぎ等

**畑園関係の主な施設** 育苗用固定温室5棟、ビニールハウス10棟、作物調整貯蔵施設、野菜集出荷選別施設、作物調査分析施設、有機農産物栽培用堆肥舎

**家畜飼養頭数**  
(令和5年2月)【頭】  
乳用牛(ホルスタイン) 42頭  
飼養頭数(経産牛25頭、育成牛17頭)  
肉用牛(黒毛和種) 37頭  
(繁殖牛16頭、育成牛15頭、肥育牛6頭)

**畜産関係の主な施設** フリーストール牛舎、3頭複列オートタンDEM型ミルクングパーラー、肉牛舎、スラリータンク3基(地下式)、堆肥舎、バンカーサイロ5基、家畜演習施設、現場演習教室、乾草舎2棟等

## 各種認証

- 令和2年 JAS有機ほ場認証  
ASIAGAP認証取得(いちご)
- 令和3年 農場 HACCP認証取得(乳用牛・肉用牛)
- 令和4年 食品 HACCP認証取得(アイスクリーム)

# 北海道立農業大学の施設



教室



講堂



図書室



ミルクングパーラー



肉牛舎



乳牛舎



温室



土壌分析実習室



生物学実験室

# 農大最大の魅力とは…

プロジェクト学習

実践的な学習でスキルアップ



肉牛の体測



自走給餌器の操作方法習得



販売実習



移植てん菜の苗作り

農業大学のカリキュラムは、教養科目や専門科目の授業・実習を通して、農場、牛舎で農業経営者に必要な実践する力を養います。各自の課題に基づいたプロジェクトに自ら取り組むことにより、社会の変化に対応できる経営する力を養います。

農家体験学習・先進地農業視察研修

実際に現地で調査・研修



※R4は沖縄研修



先進農家体験学習



水稻実習



施設園芸部

北海道内の先進的な農家で1か月間の実習(養成課程1年生必修)、先進地農業視察研修(養成課程2年生選択科目)を通じて、知識・技術を修得します。さらに、自ら希望の地域と経営内容を調査し、未来を担う農業経営者として、広い視野に立った農業観と鋭い経営感覚を養います。

## ■入校から就農まで



※新規就農の場合には、市町村での研修と数百万の自己資金が必要になります。

# 在校生の進路

学生の声

**入澤 健吾**

進学(帯広畜産大学3年次編入)

畑作園芸経営学科(群馬県出身、群馬県立高崎北高等学校卒業)

私は北海道を旅行で訪れた際に、広大な農地を大型農業機械で耕作しているその規模の大きさに衝撃を受け、自分でやってみたいという憧れを抱きました。以来、高校を卒業後は北海道の学校に進学したいと考えようになりました。農業大学校は実習を中心とし、農業と近い距離の環境で、農業を学べることに魅力を感じ入校を決めました。プロジェクトでは自らが機械に乗り、栽培管理をしていく中で実践的に作物栽培を学ぶことができました。また農業に志を持った同志と農業について話せたことがとても嬉しく感じました。そんな仲間と学び、生活をしていく中で共に成長し、さらなる農業への熱を持つことができましたと感じています。今後の進路として農業経営についてさらに学びたいと考え、帯広畜産大学に進学し、優れた経営、経営者とは何か研究をしたいと考えています。

農業生産に興味がある方は農業大学校への入校を考えてみてください。

**寺地 優樹**

進学(北海道立農業大学校農業経営研究科)

畑作園芸経営学科(美幌町出身、北海道美幌高等学校卒業)

畑作園芸経営学科では、北海道内の農業者に指導している普及指導員から、農業基礎や、畑作物、野菜、花きを学ぶことができます。私は、自家の問題である「連作」を解決しようと思い、「スイートコーンの新規導入に向けた基本的栽培技術の習得」と題してプロジェクトを行いました。勉学のほかに、先進農家1カ月研修や先進地農業視察研修など普段見ることにはできない研修が行えます。

私が農業経営研究科に進学を決めたきっかけは、農大の職員と同じ普及指導員になりたかったからです。まず研究科では自家で栽培しているアスパラガスや、スイートコーンの知識をより深めようと考えています。その後は、本州へ視察研修に行きたいと考えています。農業は「きつい」、「きけん」、「きたない」というイメージがありますが、いざ農業をしてみると、「かっこいい」、「かせげる」ということがわかってきます。我々とともに北海道農業を盛り上げるべく、農業大学校に入校してみませんか？

**成瀬 誉也**

就農(自家就農)

畑作園芸経営学科(芽室町出身、北海道帯広農業高等学校)

自家は、十勝の芽室町にあり、小麦、加工用馬鈴薯、甜菜、枝豆、サヤインゲン、生食・加工用スイートコーン、百合根を栽培しています。私は、畑作農家の後継者として、家業を継ぐために農業高校に進学し、まだ知識が不十分だと感じ、北海道立農業大学校に進学しました。

農大では、1年生の時に作物栽培の基礎を学び、2年生では、プロジェクトを通して実践的に農業を学びます。プロジェクトは、計画から全て学生主体で行うので、最初は慣れず、とても大変な思いをしました。仲間と協力して困難を乗り越えた先では大きな達成感を得られました。

このように農大では、実習を通して仲間と農業に必要な経験を積むことができます。また、農業に必要な資格を多く取得できます。これからの日本の食の未来を担う農業者として、お互いに協力し合い、知識や技術を深めていきましょう。

**中島 大介**

就農(自家就農)

畜産経営学科(八雲町出身、北海道八雲高等学校卒業)

自家は渡島地方の八雲町にあり、酪農を中心として肉用素牛の個体販売等を行っています。私は普通科高校出身のため酪農に関する知識が乏しく、牛に関する知識と実践経験を得るために北海道立農業大学校に進学することを決意しました。

農大での2年間は、経営者として必要な知識と技術を学ぶことができました。私は乳牛管理部の部長として活動しました。部員の先頭に立って活動することは大変でしたが、部員と協力してやるべきことを考え、実行するという経験は間違いなく今後の自家経営の糧になったと思います。他にも、プロジェクト活動を通して自分がさらに深く学びたいと思ったことをテーマとして選び、研究したことは貴重な経験となりました。

農大は経営者として必要になる知識、技術、資格等を得ることができます。後継者や農業に興味を持っている人との繋がりを築くこともでき、将来農業を営む上で必ず役立つものを得られます。これからの農業を担う農業者として、農大で確かな知識と経験を積みましょう。

**尾形 彪馬**

雇用就農(東武牧場)

畜産経営学科(士別市出身、北海道剣淵高等学校卒業)

私には昔から「酪農家になりたい」という目標があったため、剣淵高校を卒業した後、北海道立農業大学校に進学しました。農業大学校を選んだ理由は、数多くの実習活動や畜舎当番で技術を磨くことができると家畜人工授精師や牛削蹄師などの多くの資格を取得できるためです。他には同じ目標を持ったり、農業をやりたいという気持ちを持った仲間と切磋琢磨し、繋がりを持つからです。将来農業大学校でのたくさんの繋がりが強い武器となり、農業をやっていく上で、より高みを目指せと思っています。

卒業後は士別市の育成牧場に就職が決定しています。周りにはたくさん相談できる仲間がいるので不安はありません。ぜひ、皆さんも素晴らしい出会いを求め、農業大学校へ入学してみませんか？

## 就職先

- 就農(自家・雇用)
- 酪農ヘルパー
- 農業機械メーカー
- 農協
- コントラクター
- 試験研究機関
- 農業公社
- 家畜人工授精所

## 2023年度学生概況(養成課程)

■男女比



■出身高校



■出身地



■卒業生の進路



## 北海道普及職員への道

学校教育法に基づく大学  
(短期大学を除く。)

又は

農業改良助長法施行規則  
第4条第1項第2号に  
該当する施設

→道内では「北海道立農業大学校の研究課程」が該当になります。

受験資格の詳細は道庁の採用情報ホームページの総合案内をご覧ください。



# 畜産経営 学科



乳牛管理



## 学科の特色

畜産経営学科では、乳牛及び肉牛、草地管理について学びます。農場では約90頭の乳牛・肉牛を飼育し、飼料作物の栽培、家畜の飼養管理、衛生管理、繁殖技術や経営管理技術を学びます。



## 主な科目

農政・経済、農業経営、農業簿記、農業簿記演習、経営分析論演習、経営設計、経営設計演習、農業機械学、農業機械学演習、スマート農業機械学演習、家畜栄養学、家畜解剖学、家畜飼養論、飼料作物学、家畜繁殖学Ⅰ、家畜育種論、環境土壌学、農場HACCP概論、専攻実習、体験学習、畜舎管理実習



取得を目指す資格等!!

家畜人工授精師(牛)

牛削蹄師(2級)

ガス溶接技能講習

アーク溶接特別教育



## 肉牛管理



### 「農業大学校に入校して」 畜産経営学科 大沼 展満 (宮城県出身 宮城県農業高等学校卒業)



私は将来、北海道で新規就農がしたいと思っており、そのために必要な知識や技術を実際に北海道で学び身に付けたいと思い、この北海道立農業大学校を選びました。農大では、家畜人工授精師や削蹄師など他にも多くの資格が取得できるというところも自分が将来就農するための大きな一歩に繋がるといっても魅力を感じました。

そして農大は、農場の運営を学生が全て行うので人とのコミュニケーションや協力が大切になってきますし、一人では絶対に出来ないことばかりなので協調性も個々のステータスもレベルアップすることができるため、自信にもつながっていくと思います。

牛に給与する牧草を育てる畑の管理も学生が行います。実際に生徒がトラクタに乗り、肥料散布から飼料作物の収穫、調製まで行います。本校は、機械作業が多くあるので、機械に自信がない人も積極的に乗れば必ず身に付けることができるのでぜひ苦手意識がある人こそ、農家、非農家、関係なくチャレンジして欲しいと思います。もちろん、いきなり作業ではなく操作の仕方を教えてもらえるため、安心して作業出来ます。

講義に関しては外部講師の方が来てくれることもあり、実際の現場、現在の酪農についてより深い話を聞くことができます。教員の講義では、酪農の基礎から学ぶことができるので非農家や酪農未経験の方でもわかりやすく学べます。そのため、どんな方でも、農大で学べば日本の農業の担い手、即戦力として将来活かせるようになると思います。

私は、牛にかかるストレスが少なく、牛の能力を最大限引き出すことのできるそんな牛飼いになりたいです。そのために現在も多くの牛を見て牛の少しの変化にもすぐに気づくことができ、即座にその変化に対応できるような知識、技術を得ることができるよう牛舎へ足を運び学んでいます。少しでも農業に興味がある人、動物、牛が好きならぜひ農大を選んで欲しいです。

フォークリフト運転  
技能講習

車輛系建設機械  
(整地等)運転技能講習

家畜商

毒劇物取扱者  
(農業用)

危険物取扱者  
(乙種4類)

日本農業技術検定

# 畑作園芸 経営学科



施設園芸部



畑作部



## 学科の特色

畑作園芸経営学科では、作物栽培技術、機械操作、生産管理について生産から販売までを体系立てて学びます。農業実習は、1年生は作物栽培を総括的に、2年生は自ら立案したプロジェクトに応じて畑作部、露地野菜部、施設園芸部に分かれて農場運営を通じて学習します。また、GAP認証ほ場での栽培にも取り組んでいます。

## 主な科目

農政・経済、農業経営、農業簿記、農業簿記演習、経営分析論演習、経営設計、経営設計演習、農業機械学、農業機械学演習、畑作園芸機械施設演習、生物工学演習、土壌肥料学、土壌肥料実験、植物生理概論、GAP概論、専攻実習、体験学習

取得を目指す  
資格等!!

玉掛け技能講習

小型移動式クレーン  
運転技能講習

ガス溶接技能講習

アーク溶接特別教育





露地野菜部



### 「農業大学校に入学して」

畑作園芸経営学科 久保 かなえ  
(札幌市出身、北海道遠別農業高等学校卒業)

私の家は非農家ですが、農作物を生産してみたいという考えから、農業高校に通い、農業に関わってきました。農業高校での実習を通して、農業で稼いで暮らしたいと思うようになり、将来は北海道を支える農業従事者になろうと考え、北海道立農業大学校に入学しました。

私は農業大学校に入学して良かったと思う点が2つあります。

1つ目は、プロジェクト実践です。この科目では自分が栽培したい作物の研究や、自家の課題解決に向けた研究など実践的で役立つ研究ができます。私は現在、就農希望地として石狩管内を考えています。そこでは、ブロッコリー栽培が盛んであるため、就農時に役立つと考え、ブロッコリーで研究計画を立てています。基本的栽培技術を身に付けることと、安定した収量が確保できるよう頑張っていきたいです。

2つ目は、農業従事者を目指す人達が道内、道外と色々な地域から集まっていることです。それぞれ農家出身、非農家出身と農業に関わってきた度合が様々です。そんな仲間たちと取り組む実習は日々発見ばかりでとても楽しいです。互いに自分たちの目標に向かって努力し、また切磋琢磨できることも農業大学校の魅力だと私は考えます。

生きていくために食べ物は欠かせません。その食べ物を生産する立場として活躍できるよう、将来の一農業経営者としての自覚を持ち、ぜひ私たちと共に、この農業大学校でスキルアップを目指しましょう。

フォークリフト運転  
技能講習

車輛系建設機械  
(整地等)運転技能講習

毒劇物取扱者  
(農業用)

危険物取扱者  
(乙種4類)

日本農業技術検定

# 農業経営 研究科



環境保全演習(十勝千年の森)



6次産業化実践論

## 学科の特色

農業経営研究科では、農業経営者としての手腕を高めるための講義と演習、実習を行います。また、6次産業化に向けた農畜産物加工、マーケティングなどの技術と知識を高めます。経営形態により、畜産専攻または畑園専攻ゼミで学びます。

総合実習では学生の研究テーマに応じて先進農家や各専門研究機関などでスキルを高めます。担当職員と専攻ゼミ制により学生自ら設定した課題の解決に取り組みます。

自家就農、雇用就農、新規就農等の希望に応じて自家実習、農業法人での実習・視察、新規就農するための就農計画作成などを行います。アグリサポートコースでは北海道(普及職員)など農業系の就職支援も行います。

## 主な科目

農業経済、農業経営、農協・農業団体論、農業法人化論、財務管理、農業税務基礎、農業経営者実践論、長期計画演習、専門研究、卒業論文、総合実習Ⅰ・Ⅱ、研究課題計画演習Ⅰ・Ⅱ、6次産業化実践論、6次産業化実践実習、農業支援組織論、農業機械組織利用演習、農業政策、農業統計、環境保全演習、農業技術概論、先進農業特別実習、労働衛生・労働管理、ITビジネス論、作物栽培基礎、土壌肥料学、特別講座、アグリサポート演習Ⅰ・Ⅱ



作物特論



家畜特論



農産経営学



環境保全演習



6次産業化実践論



### 自分自身が目指す農業経営のために

農業経営研究科 佐々木 慎哉(士別市出身、北海道立農業大学校稲作経営専攻コース修了)

自家は上川の士別市多寄町にて、水稲、たまねぎ、かぼちゃ、大豆の複合経営をしています。拓殖大学北海道短期大学を卒業後、さらに農業情勢や情報、様々な知識を得て自分自身の視野を広げるため、進学を決めました。

研究科では、5月から9月の総合実習があり、自分の研究テーマを決め、それに合わせて実習内容を計画・実施することができます。1年次は、私は滝川市にある花・野菜技術センターにて研修を行いました。自家経営の主力作物であるたまねぎ、かぼちゃの栽培を通して、育苗方法・病害虫・収量性を見る品種比較試験や減農薬栽培の労働生産性の検討を行いました。また、様々な先進農家への視察を行い、同じ作物でも地域の特色や経営者の視点により様々な栽培方法が実践されていることを知り、多角的な視野を持つ重要性を学ぶことができました。10月以降は農大へ戻り、農業技術や経済に関する講義や加工実習、経営シミュレーションなど農業経営を行うために必要な知識や視野を広げる講義を受講しています。

また、寮生活では先輩や同級生たちとの共同生活や交流を通し、とても楽しく過ごしています。研究科に進学して、農業経営や栽培に関する様々な知識や考え方・見方が身に付いてきたと実感しています。将来へのビジョンについては、まだまだ不透明で考えなければいけないこともあります。現在行っている減農薬栽培の強みを活かしながら、自分自身が目指す「安心安全を第一に考えた消費者目線に立った農業経営」を行えるよう、頑張りたいと思います。

また、寮生活では先輩や同級生たちとの共同生活や交流を通し、とても楽しく過ごしています。

研究科に進学して、農業経営や栽培に関する様々な知識や考え方・見方が身に付いてきたと実感しています。将来へのビジョンについては、まだまだ不透明で考えなければいけないこともあります。現在行っている減農薬栽培の強みを活かしながら、自分自身が目指す「安心安全を第一に考えた消費者目線に立った農業経営」を行えるよう、頑張りたいと思います。



総合実習



6次産業化実践実習



# 稲作経営 専攻コース



## 学科の特色

稲作経営専攻コースは、稲作関係のカリキュラムを有する深川市の拓殖大学北海道短期大学(以下、拓大)に授業の大部分を委託し、拓大の農学ビジネス学科環境農学コースの学生として学びます。

農大では、拓大の夏・春各休み期間を利用して、2年間で計約40日の集中講義と体験学習や視察研修等を実施しています。

| 月   | 4  | 5 | 6 | 7    | 8     | 9     | 10 | 11 | 12     | 1     | 2 | 3 |
|-----|----|---|---|------|-------|-------|----|----|--------|-------|---|---|
| 1年次 | 拓大 |   |   | 集中 I | 集中 II | 拓大    |    |    | 集中 III |       |   |   |
| 2年次 | 拓大 |   |   | 体験学習 | 集中 I  | 異業種研修 | 拓大 |    |        | 集中 II |   |   |



## 主な科目

農業簿記、経営分析論、経営計画論、稲作技術論 等



稲作経営専攻コース 伊藤 蒼良(旭川市出身、北海道旭川農業高等学校卒業)

私の実家は祖父の代まで町内で稲作農家を経営しており、父は祖父のもとで稲作経営を学んだのち、現在は農協職員として、地元の農業者への栽培技術指導から、地元産の米の加工、販売に力を注いでいます。

そこで生まれ、常日頃から地元の米が生産されて販売されるまでを見ながら育った私は、いつからか「将来は新規就農も視野に入れ、地元および北海道の稲作振興に携わりたい」という思いを抱くようになり、高校は地元の農業高校に進学し、酒米栽培、日本酒製造も含めた稲作技術を3年間学び、卒業後更に知見を深めるため稲作経営専攻コース(以下、本コース)に進学しました。

本コースでは、普段は拓殖大学北海道短期大学で本コース以外の学生と共に農業に関する専門科目(病害虫管理学、土壌管理学、農業機械学、水稻の実習等)を学び、夏休みと冬休みを活用して北海道立農業大学校に泊まり込みながら農業簿記～農業経営を学んでいます。

まだ入学して1年も経過していませんが、本コースでは、①二つの学校の先生と関われること、②学校内を飛び出した視察研修(農業試験場、農協、実需者)が多いこと、③機械作業免許等、卒業後すぐに役立つ資格が取得できることが大きな魅力であると感じています。

卒業後まで残り1年弱と短く、日々のレポートや卒業論文の作成等に追われていますが、自分の夢を叶えるためのステップとして捉え、出会った仲間たちと支えあいながら乗り越えていきたいと思っています。

# 農大なんでも

# Q&A

## Q 農大ってどんな学校なの？

**A** 本校は専修学校専門課程(農業)の学校に位置づけられ、卒業すると「専門士」の称号が付与されます。短期大学卒業者と同等以上の学力があると認められる者として、大学への編入学の資格も得られます。

## Q 農大の先生方ってどんな先生？

**A** 授業担当者は、本校職員(普及指導員)と外部講師(農業試験場職員・大学教授・農業機械メーカー職員・食品加工メーカー職員・税理士・農業者など)で構成されています。講義内容に応じてそれぞれのスペシャリストが先生になります。

## Q 農業高校出身でなくても、授業についていけますか？

**A** 在校生の約6割が、農業高校以外からの入校生です。本校に入校後、農業の基礎的な科目から履修できるようになっており、次第に専門的な科目を履修することになります。農業実習も入門的な内容から次第に専門的な内容となるよう段階的に組み立てています。

## Q 寮はどんな生活ですか？

**A** 養成課程(畜産経営学科、畑作園芸経営学科)は全員が入寮することになります(男子は二人一部屋、女子は一人一部屋)。生活に慣れるまで先輩と同室となり、学習や生活のことを丁寧に教えてくれます。  
休日は、サークル活動や買い物、友達と遊びに行くなど自由に過ごすことができます。年末年始の閉寮期間以外は、三食全て食事が出ます。

## Q 1日の授業時間はどうなっていますか？

**A** 1時限当たりの授業時間は45分で、2時限で一つの授業となることが多いです。基本的には午前は講義(座学)、午後はプロジェクトや実習になり、ほ場での学習となります。

|     |             |     |             |
|-----|-------------|-----|-------------|
| 1時限 | 9:00～ 9:45  | 5時限 | 13:10～13:55 |
| 2時限 | 9:45～10:30  | 6時限 | 13:55～14:40 |
| 3時限 | 10:40～11:25 | 7時限 | 14:50～15:35 |
| 4時限 | 11:25～12:10 | 8時限 | 15:35～16:20 |
| 昼食  | 12:10～13:10 | 9時限 | 16:30～17:15 |



## Q 道外出身でも、入学できますか？

**A** 道外の方でも入学は可能ですが、本校は「卒業後、北海道内で就農の意思を有する」ことが受験資格になっていますので、注意が必要です。就農には、法人への雇用就農、酪農ヘルパーを含みます。

## Q 奨学金などの制度がありますか？

**A** 本校は、専修学校に位置づけられているため、日本学生支援機構の奨学金制度を利用できます。また、将来は自分の家で就農する、若しくは農業生産に関わる仕事をするなどの要件を満たすことによって、農業次世代人材投資資金の交付を受けることができます(所得制限があります)。





### 農大市

秋の本校産農産物の大販売会です。



### 強歩大会

明日の農業に必要な逞しい精神力と忍耐力を養うことを目的に、32.195kmを6時間で完歩します。



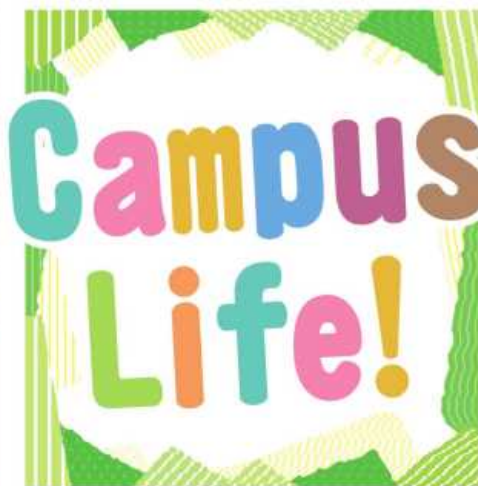
### プロジェクト発表会

一人ずつ1年かけて取り組んできた内容を発表します。



### オープンキャンパス

学生が主体となって農大の学習内容を紹介します。



### 農大祭

毎年7月に、学生が主体となって様々なイベントを行います。ぜひお越しください。



### 体育祭

日ごろ農業で培った体力を発揮して、全力プレーで頑張っています。



### 冬季体育大会

バレーボール、ドッジボールなどをして、運動不足を解消します。



### サークル・同好会

野球、トレーニング部、アウトドア部、ベタンクサークル、音楽サークルなど放課後や休日に活動しています。

## ■ 受験資格と試験科目

○畜産経営学科・畑作園芸経営学科・稲作経営専攻コース共通

●「推薦試験」と「一般試験」があり、受験資格と試験科目は次のとおりです。

| 受験資格        | 共通受験資格 |  | ●高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者。  | 試験科目  |
|-------------|--------|--|--|---|
|             | 推薦     | 特別推薦受験資格   | ●心身ともに健康で、本校卒業後、北海道内で就農が確実な者。<br>(親族が経営する農業経営体(農業法人の構成員を含む)に就農すること)<br>●次のいずれかの条件を満たす者。<br>①調査書の評定平均値が3.5以上の者。<br>②日本農業技術検定3級以上を取得している者。<br>③部活動(農業クラブ活動含む)等で顕著な成績を収めた者。 | ○作文<br>○面接  |
|             |        | 一般推薦受験資格   | ●心身ともに健康で、本校卒業後、北海道内で就農の意思を有する者。   |   |
|             | 一般     | 一般試験受験資格   | ●高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を卒業した者、若しくは令和6年3月に卒業見込みの者。又はこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。<br>●心身ともに健康で、北海道立農業大学校を卒業後、北海道内で就農する意思を有する者。<br>●令和6年4月1日現在で40歳未満の者(昭和59年4月2日以降に生まれた者)。   | ○筆記試験<br>・必須科目「国語総合」<br>・選択科目「数学I」又は「農業と環境」のうちいずれか選択<br>○面接 |
| 社会人選考試験受験資格 |        | (上記一般試験受験資格要件に加え)<br>●高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を卒業した者、農業若しくは農業以外の就業経験を概ね2年以上有する者で、本校卒業後、北海道内で就農する意思を有する者。 | ○作文<br>○面接   |   |

○農業経営研究科

|   |             |
|---|-------------|
| ●農業大学校養成課程の卒業若しくは令和6年3月に卒業見込みの者。<br>●短期大学又は大学において農業に関する正規の課程を修めて卒業した者又は令和6年3月に卒業見込みの者。又はこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。 | ○小論文<br>○面接 |
|---|-------------|

## ■ 試験日程

| 課程・部門     | 区分  | 願書受付             | 試験日      | 合格発表     | 試験会場  |
|-----------|-----|------------------|----------|----------|-------|
| 養成課程・研修部門 | 推薦  | 9/19(火)～9/29(金)  | 10/12(木) | 10/23(月) | 本校・札幌 |
|           | 一般  |                  |          |          |       |
| 研究課程      | 社会人 | 10/5(木)～10/13(金) | 11/2(木)  | 11/16(木) | 本校    |
|           | 一般  |                  |          |          |       |

※入校検定料は、4,220円です。

## ■ 諸経費等

|                                | 畜産経営学科・畑作園芸経営学科  |                     | 農業経営研究科(入寮生の場合)                                      |                 | 稲作経営専攻コース  |         |
|--------------------------------|--|---------------------|--|-----------------|--|---------|
|                                | 1年   | 2年                  | 1年   | 2年              | 1年   | 2年      |
| 入校料                            | 8,320  | -                   | 8,320  | -               | 8,320  | -       |
| 授業料                            | 163,200  | 163,200             | 163,200  | 163,200         | 163,200  | 163,200 |
| 寮使用料 <sup>(※1)</sup>           | 25,080~42,120  | 25,080~42,120       | 41,880   | 41,880          | -  | -       |
| 寮光熱水費                          | 41,840   | 40,170~41,020       | 33,660~34,230  | 27,100~27,380   | -  | -       |
| 寮食費・清掃費 <sup>(※2)</sup>        | 396,107  | 406,707             | 345,227  | 292,227         | -  | -       |
| 保険料・学生会等会費 <sup>(※2)</sup>     | 75,753~76,323  | 99,213~100,033      | 83,283~83,583  | 95,173~95,873   | -  | -       |
| 教材・資格取得費 <sup>(※2)</sup>       | 129,570~138,140  | 86,080~213,260      | 118,000~119,300                                      | 147,000~148,300 | 100,000  | 200,000 |
| 教科書代 <sup>(※2)</sup>           | 36,934~42,294  | 11,262~15,153       | 3,190  | 4,600           | -  | -       |
| 先進地農業視察研修費 <sup>(※2)(※3)</sup> | -  | 200,000             | -  | -               | -  | -       |
| 合計                             | 876,319~906,971  | 1,031,712~1,181,493 | 796,760~798,930                                      | 771,180~773,460 | 271,520  | 363,200 |
| その他                            | ○全寮制の2人部屋(女子は、1人部屋)<br>○大型特殊自動車免許(できる限り入校前に取得)<br>○パソコン(入校前に仕様を説明) |                     | ○入寮は任意です(1人部屋)(入寮しない場合、寮関係経費は不要)<br>○パソコン(入校前に仕様を説明) |                 | ○拓大の授業料等は道が負担<br>○集中講義に係る交通費及び深川市内の生活費は自己負担<br>○大型特殊自動車免許(できる限り入校前に取得するのが望ましい) |         |

※直近の徴収額を基にした金額であり、変動する場合があります。また、学科・履修科目により徴収額は異なります。

※1:寮使用料は、入寮する建物によって異なります。 ※2:残余金が発生した場合には返金します。 ※3:先進地農業視察研修は希望者のみです。



### ACCESS

- 十勝バス帯広陸別線…………… 本別下車→ハイヤーで10分
- 十勝バス帯広陸別線…………… 仙美里小学校下車→徒歩で30分
- ※北海道立農業大学校までの公共交通機関はありません。
- とがち帯広空港→76.1km                    ■帯広駅から→62.9km
- たんちょう釧路空港→67.9km

### お問合せ先

## 北海道立農業大学校

〒089-3675 北海道中川郡本別町西仙美里25-1

入校・出願に関するお問合せは教務部まで

TEL (0156) 24-2121 (代表)    TEL (0156) 24-2122 (教務部)    FAX (0156) 24-2421



URL <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd/>

E-mail [nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp)



 <https://www.facebook.com/nougyoudaigakkou/>



 [https://www.instagram.com/hokkaido\\_nodai/](https://www.instagram.com/hokkaido_nodai/)